

1 班

いそいだほうがいい
私はそれほど長くここにとどまることは
できない（春樹）

土星に帰らなきゃいけない
そこにわたしたちの図書館があるから
リレキシヨを月に返さなきゃいけない（さなえ）
生に帰るすけるとんの

すけるとんのなま毛のたくさん
ある手 毛・手 毛・手
てけてけ 頭痛（らくと）

腕時計をつけて行こう
安い腕時計

歴史と経過を残すため（大至）

お嬢さまって呼ぶな！

伊藤さんが踊っている。

ロバートキャンベルさんがしゃべって
いる。

階段が軽音をならす。（はるか）

耳の生えたイスにニッする

羊男は本をよみながら

「あなたのことなら知ってる

『A』でチューニングしたヤツだろ？」（さなえ）

ハテナはいぶかしむ む？

む？ 反抗する するう？

吐き手のむすぶ むするむすう

むするゆする枝をゆする

たわむ む？ うたがう？ む？

産む 無 吸うの（らくと）

こしかけた私

初めての場所生まれ変わる（大至）

リスト・ベートベン・モーツァルト

1万枚以上のレコードが保管

されている。白い四角い空間

のなかに並んでいる。（はるか）

徳川家康、はにします

Phoneでかけていますが

そこからオーディオ・マイクに飛べますか

飛んで、飛んで、宙へ！（さなえ）

うらがえって

秀吉、げんきですか？

秀吉、しにました

さしましたさしすせそ

けりましたかきくけこ

わらいますらりるれろ（らくと）

青と緑と海辺と本棚

ザザーツとくだける字が並ぶ（大至）

詩とは何か？（はるか）

生きることはジャズのグルーヴ（さなえ）

燃やせよすぐおわるからわらう（らくと）

死んだ鯨が唄って降って（大至）

2 班

急いだほうがいい
私はそれほど長く

この場所に

留まることができない (ハルキ)

いつかここも壊されて

みんなどこかに行ってしまう (ゆみ)

お入り下さい トネルを抜けて (さや)

翻訳が結婚に見えて旅をするような恋をする (ヒデミ)

メキシコ海辺は舞台装置

逆さ人間紫春樹は

低音と共に降ってくる (トミー)

あなたの好きなジャズソング

ぞろぞろ歩く音符達 (ゆみ)

階段を下りて聴こえなくなる

今は聞けない

ラッタッタ ラッタッタ 黒い箱の中の白い人形たちは見知った場所の新しい場所で踊る

何が時なのか (ヒデミ)

メモなど破り捨てればよかった。壁の付箋も振り返ら

ずにただ歩いておけばよかったのだ。煩わしい筆ペン

も折って机を囲んでいたかった。 (トミー)

私たちはアルチンボンドの四季

寄せ集めの絵画と詩

巡り巡る真っ白な箱の中で

きちがいじみた練習 (ゆみ)

いそいだほうがいい

私はそれほど長く

この場所にとどまることは

できない (ハルキ)

むらさきのむらかみがおいかけて
くるんだ

ただでさえおなか痛いのに。 (リュウノスケ)

オレンジの猫が、お腹の中でのたうち回っているのか。

私の足はなぜか踊るようなステップを踏んでいる (ひろみT)

私の聞えなびアノの音楽を

その猫が効いているかも。 (ティラー)

結局のところ私たちは一人ぼっち

だけれどピアノはひけます。 (リュウノスケ)

ひとつとして同じものはない家具の部屋で、レコードを流し

外が見えない筒のような椅子に座ってみる (ひろみT)

肋骨なし肉なし筒なのに

あたたかいうまみであふれている (ティラー)

私のさびしさはマズい！

マズい！ マズい。 マズい！

仕方がないからネコを吸う

スウウスウウスー (リュウノスケ)

吸い込んだネコをポンポンはき出すと

さびしさと切なさが同時に抜けて

急に楽しくなったかもしれない (ひろみT)

もしかして空っぽになった私は

変身された (ティラー)

4 班

いそいだほうがいい 私は
それほどながくこの場所に

とどまることはできない (春樹)

かもしれない かいだんをとんでも

ふんでも (たかね)

音をあつめて

のぼって もぐって (はるこ)

旅をする

言葉は形を変える (とも)

こうそうしたさいこの部屋 (たかね)

初めて来た時の浅い足音

広がる記憶 (はるこ)

サインをもらう

心が踊る (とも)

スタンプを押す

ぜひもっておもわせる (たかね)

私の目が光る

地下鉄を抜ける (はるこ)

はははははは

ほっほほほ (とも)

へ、ほ、ほ、へ、べ、べっぼう

べっぼうおうだんほどのしましま

段々の、いれかわるいす (たかね)

ころがつてどんどこどん

泣き顔流す

ぺりんぺりん にやり (はるこ)

まどろみの中へ

ふわふわふわ (とも)

サーザーサー

ぬけるあたまのなうての耳の奥の

きー (たかね)

ようやくのあったラジオの周波数

ざーざーざー つつつつ (はるこ)

ラジオは終わります

興奮は冷めませんが

ぽーん (とも)